

クマを目撃したときはご連絡を

クマを見かけたときは、安全を確保した上で、①目撃場所②目撃時間③目撃した時の状況④大きさ⑤クマが移動した方向を連絡してください。※市はいただいた情報から、モバイルメールとBearsへの出沒情報の配信や広報車による広報活動などの対応を実施しています。

■問い合わせ…
【平日の年中】 農振振興課 ☎0197-72-8238
【平日夜間、土・日曜日、祝日】 市役所代表 ☎0197-64-2111または、北上警察署 ☎0197-61-0110

クマによる被害防止のためにいわてモバイルメールやBearsの登録を

クマによる被害に遭わないためには、すばやく情報を得ることが必要です。市は「いわてモバイルメール」「Bears」を活用し、位置情報も含めたクマの出沒情報をお知らせしていますので、登録をお願いします。

■いわてモバイルメール
メールでクマの出沒情報を入手できます。登録は次のとおりです。
①スマートフォンなどで二次元コードを読み込む
②「受信登録する」をクリック→空メールを送信
③受信したメールのURLをクリックして登録完了

いわてモバイルメール

■Bears
県は、クマの出沒情報をスマートフォンから即座に投稿でき、リアルタイムで地図上に表示されるアプリBearsの運用を開始しました。
県公式LINEを友だち追加し、出沒情報受信設定を行うことで、県内のクマの出沒状況を確認できるほか、出沒時にはプッシュ通知を受信できます。

アプリからクマの目撃情報を投稿することも可能ですが、クマを目撃した際は、北上市役所または北上警察署に電話で通報をお願いします。※登録・利用の詳細は、県のホームページをご覧ください。

県公式LINE「Bears」の詳細はこちら



県公式LINEはこちら



補助制度を活用ください
クマ撃退スプレー購入費補助
クマに遭遇した際に身を守るための有効な手段とされているクマ撃退スプレーの購入費用の一部を補助します。補助対象となるクマ撃退スプレーには基準がありますので、購入前に農振振興課へお問い合わせください。
■対象：市内に住所を有する18歳以上の入または、市内の事業所に所属する従業者や団体の構成員（18歳以上の人）
■対象経費：令和7年12月15日以前に購入したクマ撃退スプレー購入費（消費税を除く）
※送料やホルダーなど付属品は対象外です。



クマから逃げられない距離の場合の防衛姿勢



うつぶせになって顔と腹部を守り、両手や首の後方を保護しましょう

◇クマの隠れ場所を作らない
クマは、草が生い茂るヤブなど、人目につきにくい場所を選んで行動します。家や田畑周辺は刈り払いなどを行い、見通しを良くしましょう。
◇山に入るときの注意点
山に入るときは、クマよけ鈴を携帯したり、複数人で会話をしながら歩いたりするなど、クマへの存在を知らせましょう。音の出るグッズやクマ撃退スプレーを携帯するなどの対策も有効です。
◇困って守ろう
農作物を守り、クマを近づけないため、田畑には電気柵を設置し、侵入防止に努めましょう。
※農地への電気柵設置費用の補助額を拡充予定です。詳細は次号でお知らせします。

事業者への補助

市内の事業者が、ツキノワグマの侵入防止・警戒のための設備を整備する場面に経費の一部補助します。事前申請が必要ですので、事業の着手前に産業雇用支援課（☎72-8242）へご相談ください。
■対象：市内に事業所を有する事業者
■対象経費：①電気柵、フェンス、窓格子など、侵入を防止する設備の整備費②センサーカメラ、音響設備など、侵入を警戒する設備の整備費
※詳細は市のホームページをご覧ください。

万が一、クマと出合った

クマに出合わないように対策をしていますが、突発的にクマと出会うことがあります。万が一、クマと出合ったまったら背中を向けず、クマから目を離さず、慌てず静かにゆっくりその場を離れてください。

児童生徒の安全対策

クマが通学路などに出没したときは、学校から保護者の皆さんに送迎をお願いします。送迎が難しい家庭はタクシーを利用して下校できる運用を開始しています。

AIカメラやドローンを活用した対策
クマが人里に近づくのを防ぐため、AIカメラやドローンを活用し、個体の動向把握を行うとともに、追い払いや捕獲につなげていきます。

個人や地域みんなでできる「近づけない」対策

一度に簡単に食料を得られることを覚えただクマは、何度も狙いにきます。クリやカキなど実のなる庭木は、早期に実を収穫する、トタンを巻く、電気柵を囲うなどの対策をしましょう。家庭ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。
※放任果樹伐採費用への補助を予定しています。詳細は次号でお知らせします。
◇小屋や倉庫は戸締り・施錠を
昨年、倉庫にクマが侵入し、コメなどの食害が発生しています。小屋や倉庫はしっかりと戸締りをしましょう。

「近づかない」が一番の対策

クマは耳や鼻がよく利き、足が速く、木登りが上手で泳ぎも得意な動物です。基本的に人は避け、普段はゆっくりとした動きで生活していますが、突発的に出会うと人間を襲うこともあります。子グマは好奇心が強く、近づいても逃げないことがあります。近くには親グマがいます。親グマは子グマを守るため攻撃的になるので、とても危険です。自分の身を守るためにも、万が一クマを見かけたとしても近づかないようにしてください。

安全最優先！

近づかない・近づけない

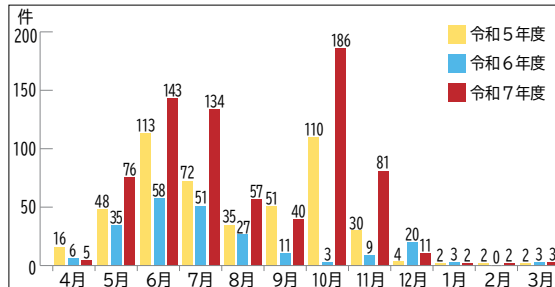
～クマによる被害を未然に防ぐために～

暖かい季節となり、冬眠明けのツキノワグマが出沒する時期となりました。近年は山林だけでなく、市街地での目撃情報も多くなっています。山へ入る際はもちろん、日常生活の中でも注意が必要です。

被害を未然に防ぎ、安全に暮らすために、私たちができる対策を考えましょう。
■問い合わせ…農振振興課 ☎0197-72-8238



■クマの月別通報件数（市内）



本市のクマの出沒状況
本年全国的にニュースとなり、大きな被害をもたらしたクマ。市内では4件の人身被害が発生し、3人の尊い命が失われる重大な事故が起きました。改めて、クマ被害をお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご家族や関係者の皆様にお見舞い申し上げます。市は、警察や北上市鳥獣被害対策実施隊と連携し、クマの捕獲・駆除に努めていますが、市民の皆さんも注意をお願いします。

本市では、令和7年度に740件の目撃情報が寄せられました。

これは、6年度の約3倍、通報件数が多かった5年度の約1.5倍に当たります。グラフから通報件数を月別に見ると、例年6・7月の特によく、その後一時的に減るものの、10月には再び増加する傾向があります。

また、7年度はクマのエサとなるブナの実が大凶作だったことから、エサを求めて市街地に出没するケースも見られました。

県内では2・3月に人身被害が発生しており、県は3月24日に県内全域に「ツキノワグマの出沒に関する注意報」を発表しました。市は、ツキノワグマ出沒に伴う北上市危機警戒本部を3月25日に設置し、パトロールを強化しています。市内でも、本年度すでに目撃情報が寄せられていることから、引き続き十分な注意が必要です。